臨海部レガシースポーツイベント実行委員会(第6回)

日時:令和5年5月17日(水)

議事次第

- 1 開会
- 2 審議事項
 - (1) 令和4年度臨海部レガシースポーツイベント実行委員会 決算報告について
 - (2) 実行委員会の解散及び今後の体制について
- 3 報告事項
 - (1) 令和5年度における業務委託契約相手方について
- 4 その他
- 5 閉会

第6回 臨海部レガシースポーツイベント実行委員会 説明資料



2023年5月17日

2 審議事項(1) 令和4年度臨海部レガシースポーツイベント実行委員会決算報告について

別紙1-1 実施報告書、別紙1-2 収支決算書 参照

2 審議事項(2) 臨海部レガシースポーツイベント実行委員会委員(R5.4.1~)

肩書	氏名
【委員長】 JCL(ジャパンサイクルリーグ)チェアマン	片山 右京
公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会スポーツ振興部長	藤田 勝敏
東京商工会議所 ビジネス交流部副部長	大山 智章
日本自転車普及協会理事	栗村修
東京都自転車競技連盟会長	中村 賢二
株式会社東京臨海ホールディングス経営企画部事業調整担当課長	眞家 文夫 ※1
東京臨海高速鉄道株式会社運輸部営業課長	出口 龍二
港区教育委員会事務局 教育推進部生涯学習スポーツ振興課長	竹村 多賀子
江東区地域振興部スポーツ振興課長	山口 遥 ※1

- ※1 人事異動に伴い交替
- ※2 GCT実行委員会委員として東京都体育協会にご参加いただくこととなったため、 東京都体育協会 峯岸委員は、当実行委員会からは退任

2 審議事項(2)

実行委員会の解散及び今後の体制について



- ・レインボーライド・マルチスポーツの実施計画については、これまでと同様、「臨海専門部会」 で検討を行うこととする。
- ・実行委員会委員の方々へは、専門部会委員として引き続きご協力をお願いしたい。
- ・専門部会における検討結果の報告及び契約手続等は「GCT実行委員会」で行うこととする。
- ・臨海部レガシースポーツイベント実行委員会からGCT実行委員会に引き継ぐもの
 - ・臨海部レガシースポーツイベント事業で作成したロゴマーク、イベント名、グッズ等の財産
 - ・臨海部レガシースポーツイベント実行委員会で作成した文書
 - ・臨海部レガシースポーツイベント実行委員会の債務(今回分謝金)

【参考】「GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会」の設置について

●臨海・多摩の実行委員会の統合

→現在、臨海・多摩でそれぞれ設置している実行委員会の上部組織として「GRAND CYCLE TOKYO」実行委員会を立ち上げ、現存の両委員会を部会とすることで、一体の組織として運営する。

【体制図】



【GCT実行委員会】

·委員長:潮田副知事

・委員:片山氏、川瀬理事、都体協理事長、都障協会長、マラソン財団

【各部会】

・メンバーは基本的には現行どおり(部会長はGCT委員会の委員を兼務)

【GCT実行委員会設置によるガバナンス強化について】

- ・両部会の統一的な管理・監督・統括
- ・契約内容の確認
- ・支出内容・決算の確認
- ・事業実施状況の確認
- ・部会に対するコンプライアンスの徹底
- ・利益相反関係の確認
- ・情報公開の徹底

3 報告事項(1)

令和5年度における業務委託契約相手方について



【臨海部イベントに関わる契約】

- ・・・①レインボーライド実施計画策定支援及び運営委託(広報関連業務等は一部②に含む)
 - →契約相手方:株式会社 SPORTS Edge
- ・・・②マルチスポーツ、多摩自転車イベント等実施計画策定支援及び運営委託
 - →契約相手方:株式会社日テレ アックスオン、株式会社ムラヤマ、テイシン警備株式会社 共同事業体
- その他・・・③事務局運営補助委託
 - **→契約相手方:株式会社シード・プランニング**

5月26日発表予定のプレスリリースについて

別紙2 プレスリリース案参照

4 その他

今後の予定について

○委員向け現地視察の実施

6月上旬~中旬頃を予定。 昨年度は、臨海部で集合し、レインボーライドのコースやマルチスポーツ 開催会場をバスで視察。

〇次回の部会開催

6月下旬頃を予定。

<u>臨海部レガシースポーツイベント実行委員会</u> 令和4年度(2022年度)事業実施報告書

以下のとおり本事業を実施した。実施に当たっては臨海部レガシースポーツイベント実行委員会(以下「委員会」という。)を設置し、令和4年度は東京都の負担金支出により、本事業を実施した。

1 イベントの基本計画、調達計画の策定

イベントで必要となる調達物の種類や数量、価格等を把握するため、基本計画に基づき調達 計画を策定した。

2 イベントの運営、実施

運営マニュアル及び進行台本に基づき、令和4年11月23日(水・祝)に GRAND CYCLE TOKYO レインボーライド・マルチスポーツを開催し、事業の管理・設営・運営・撤去等、事業実施に付帯する一切の業務を行った。

3 イベント広報の実施

(1) 開催前

特設 WEB サイト、SNS アカウント(Twitter、Facebook、Instagram)の作成や都保有広報媒体等の活用、他イベントとの連携、実行委員会委員所属団体の協力等により、イベント参加者及びボランティアの募集、イベントに関する告知を行った。

(2) 開催当日

SNS アカウントからのイベントの情報発信、YouTube でのライブ配信や、参加者による SNS 投稿により更にイベントを盛り上げる仕組みを実施した。

(3) 開催後

レインボーライド当日に撮影したコースを体験できる VR コンテンツの作成・他イベントへの出展、YouTuber 等の参加者による動画配信、SNS アカウントにおけるイベントダイジェスト動画の投稿等によりイベント後にも楽しめる仕組みを実施した。

4 イベント運営事務局運営

(1) 涉外業務

イベント実施のために必要な関係機関(自治体・警察・道路管理者、消防など)との協議、協議のために必要な支援及び連絡・調整業務を行った。

- (2) 関係官公署等への申請手続き
 - 施設・道路・鉄道等に関する利用申請等、イベント実施のために必要な申請手続を行った。
- (3) 会場、諸室の確保
 - イベント運営、実施及び準備等に使用する会場や諸室の確保を行った。
- (4) 出演者の選出及び調整
 - レインボーライド及びマルチスポーツの双方について、司会進行者、デモンストレーション出演

者、各競技体験出演者等を選出し、スケジュールや出演交渉等の調整を行った。

(5) コールセンターの設置・運営

イベント運営事務局にコールセンターを設置し、イベントの内容等に係る一般の方等からの問合せに対して適切に応対した。

5 実行委員会事務局運営

(1) 事業の経理

会計管理等、事業の経理を実施。

(2) 事務局窓口の設置・運営

各種調整を行う際の事務局窓口を設置し、運営。

(3) 実行委員会の開催、準備・運営補助

事業の最高意思決定機関として、1,2か月に1回程度、臨海部レガシースポーツイベント 実行委員会を開催した。委員会開催に係る関係者等との連絡・調整、必要な資料の作成等についても行った。

(4) 調達に関わる評価の実施

実行委員会で策定した調達計画に記載の調達物の価格等が、イベントを実施する上で適正な価格等になっているか等について必要時、事務局補助業務委託内で公認会計士による審査を実施した。

ア 第1回委員会

令和4年4月、委員会規程類改定について決議。また、令和4年度の委託事業者・イベント内容の 検討状況について報告。

イ 第2回委員会

令和4年6月、委員会会則改定について決議。また、イベント内容の検討状況について報告。

ウ 第3回委員会

令和4年8月、委員会会則改定及び首都高速道路交通規制に伴う契約3案件について決議。イベント内容の検討状況について報告。

エ 書面議決

令和4年9月、首都高速道路交通規制の広報業務に関する契約1案件について書面議決を実施。

才 第4回委員会

令和4年10月、首都高速道路交通規制に伴う契約2案件について決議。また、イベント内容の検討状況について報告。

カ 第5回委員会

令和4年11月、首都高速道路交通規制に伴う契約案件について決議。また、イベント内容の検討 状況について報告。

キ 書面議決

令和4年12月、レインボーライドのアフターフォローに関する契約案件について書面議決を実施。

臨海部レガシースポーツイベント実行委員会 令和4年度(2022年度)収支決算書

収入の部			(単位:円)
科目	予算額	決算額	備考
東京都負担金	1,934,770,000	1,062,320,115	・概算負担金収入(1,399,713,230円) ・起工時差金(535,056,770円) ・東京都への負担金戻入(337,393,115円)
収入合計	1,934,770,000	1,062,320,115	

支出の部			(単位:円)
科目	予算額	決算額	備考
委託費	1,934,770,000	1,062,320,115	 ・委託費 1,061,629,069円 ・実行委員会委員への謝金等 348,686円 ・印紙代 銀行振込手数料、通帳作成料 源泉所得税 342,360円
支出合計	1,934,770,000	1,062,320,115	

臨海部レガシースポーツイベント実行委員会の業務は 適正に行われており、計算書類等は当該年度末の財産状況を 適正に記録していることを認めます。

令和5年5月12日 監事 瀬戸 裕一郎 城戸口 隆俊

臨海部レガシースポーツイベント実行委員会 令和4年度(2022年度) 委託費内訳

名称	金額(円)	内容	
レガシースポーツイベント実行委員会事務局 運営補助業務委託	8,316,000	実行委員会事務局補助	
レガシースポーツイベントの実施運営計画策 定支援及び実施運営委託	955,900,000	レインボーライド・マルチスポーツ計画策定、 実施運営	
レガシースポーツイベント実施運営補助業務 委託	49,154,435	首都高速道路上安全対策	
「臨海部レガシースポーツイベント」開催に伴う 首都高速11号台場線交通対策施設設置等 業務委託	8,800,000	首都高関連契約	
「臨海部レガシースポーツイベント」開催に伴う 首都高速11号台場線広報予告看板等設置 等業務委託	26,180,000		
「臨海部レガシースポーツイベント」開催に伴う 首都高速11号台場線交通規制広報業務委 託	2,362,800		
「臨海部レガシースポーツイベント」開催に伴う 首都高速11号台場線交通規制に伴う料金所 機器操作及び動作確認作業業務委託	293,223		
首都高速11号台場線通行止め時の交通状況 分析業務委託	4,103,000		
首都高速営業補償	1,575,441		
「臨海部レガシースポーツイベント」開催に伴う 首都高速11号台場線交通規制に係る補助業 務委託	935,440		
レガシースポーツイベント実施運営補助(その2)	4,008,730	参加賞郵送等	
合計	1,061,629,069		

令和5年5月26日 生活文化スポーツ局



臨海部「レインボーライド」の新コースが決定! ~レインボー&ゲートブリッジを自転車で走り抜けよう~

多摩ロードレースの名称は『THE ROAD RACE TOKYO』 アンバサダーが武井壮さん、稲村亜美さんに決定!

1 臨海部レインボーライド概要

(1) 日程

令和5年(2023年)11月23日(木・祝)

(2) コース等

今年はレインボーブリッジに加え、**新たに東京ゲートブリッジをコースに追加**します。東京のランドマークである**2大ブリッジを走行する特別感**を味わえるコースです。

愛好家からファミリーまで楽しめるよう、ロング(約32km)、ミドル(約19km)、ショート(約8km)の3コースを用意します(※ゲートブリッジを走行できるのはロングのみです)。

全コースで約5,000人の参加者を予定し、7月頃に特設ホームページで募集を開始します。



2 多摩ロードレースの名称が『THE ROAD RACE TOKYO』に決定!

多摩地域で開催する自転車ロードレースの名称が『THE ROAD RACE TOKYO』に決定しました。東京で開催される本格的なロードレースを表現した名称で、今後、国内外に発信し大会の認知度向上やブランド化を図っていきます。トップアスリートの迫力・疾走感ある走りをぜひ間近でご覧ください。

【ロゴデザイン】



TAMA 2023

【THE ROAD RACE TOKYO 2023 の概要】

(1) 日程

令和5年(2023年)12月3日(日)

- (2)特徴
 - ・日本では希少な市街地におけるワンウェイレース(スタート・フィニッシュが別)
 - ・東京 2020 大会の都内コースを中心に 1964 大会コースも活用
 - ・国内での開催例が少ない公道を使用したパラサイクリングも開催

(3) エリート男子・女子 コースマップ



(4) その他

12月2日(土)には、味の素スタジアム構内外周路特設コースにて、スポーツサイクル初心者なども参加できる周回型の都民参加型レースを実施します。

GCT アンバサダーが武井壮さん、稲村亜美さんに決定!

・GRAND CYCLE TOKYO を効果的に発信し、自転車の魅力を幅広い層に伝えるため、武井 壮さん、稲村 亜美さんに、アンバサダーへ就任いただきました。今後、アンバサダーと して、イベントへの参加、SNS による情報発信等、ご協力いただく予定です。





Twitter フォロワー数 156 万人を誇る、誰も が知るスポーツタレント

「自転車をこぐのが速そうな有名人」第1位 (株式会社エイチーム 引越し比較・予約サイト「引越し侍」調べ)

ご本人からのコメント

GRAND CYCLE TOKYO アンバサダーを務 めます、百獣の王・武井壮です。自転車は 地球を楽しむのに最も適した乗り物です。 自分の漕ぐ力が生み出す風を感じて、東京 を、地球を全力で楽しみましょう!

豪快なバッティングが「神スイング」とし て話題

スポーツサイクルファンへの知名度は抜群

ご本人からのコメント

この度 GRAND CYCLE TOKYO アンバサダ -に就任しました、稲村亜美です。誰もが楽 しめる自転車の魅力を、レースやイベントを 通じて沢山の皆さんにお伝えできればと思っ ています。東京の風を感じながら、GRAND CYCLE TOKYO を全力で応援します!

※「GRAND CYCLE TOKYO」公式 Twitter(外部サイトリンク) https://twitter.com/grandcycletokyo



本件は、「『未来の東京』戦略」を推進する事業です。

戦略 16 スポーツフィールド東京戦略「スポーツフィールド・TOKYO」プロジェクト

〈問合せ先〉

生活文化スポーツ局国際スポーツ事業部国際大会課自転車活用推進担当

電話:03-5320-7657